



UNIVERSITY
ACCREDITED
2014.4~2018.3

「公開講座」のご案内 2017



国指定重要文化財 外人宣教師館

弘前学院大学

<http://www.hirogaku-u.ac.jp>

1. はじめに

■ ごあいさつ ■

今から131年前、弘前教会の一角に産声を上げた弘前学院は、「畏神愛人」(神を恐れ、人を愛する)を建学の精神・理念として掲げ、北東北を代表する一貫教育の場へと発展して参りました。現在では、その傘下に中学校、高校、大学(3学部4学科)、大学院(2専攻)を擁しております。これも地域の皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。

もともと、蓄積された「知」の地域住民への開放は、どんな大学においてもこれを責務とするところですが、わが弘前学院大学においては、かねてから特に積極的に行って参りました。今回ご案内する「公開講座」(講師派遣事業)は、その中核をなすものの一つです。既に十余年の歴史を持ち、今後一層の拡大を目指しています。

学校、職場の研究会、サークルなど、様々な場面に本学の講師を派遣いたします。このパンフレットをもとにご検討いただければ幸いです。

弘前学院大学 学長
吉 岡 利 忠

■ 「公開講座」と「開放講義」 ■

○ 「公開講座」

弘前学院大学(以下、「本学」といいます)の行う講師派遣事業の通称です。学校教育機関における各種イベント、職場の研究会・研修会、市民サークルの会合などに、本学教員を講師として派遣する事業です。詳細はこのパンフレット「2. 公開講座」をご覧ください。

○ 「開放講義」

また、本学では、地域の皆さんに通常の講義を学生と一緒に受講して頂く「開放講義」も実施しています。詳細は、本学のホームページ(<http://www.hirogaku-u.ac.jp>)をご覧ください。本学までお問い合わせください。

2. 公開講座

■ 文学部 ■

○ 講師名 : 井上 諭一

テーマ 1 : 文学としてのマンガ

概要 : 文学作品として現代のマンガを読む試みです。

この中には2種類の区別があります。

(1) 先に文字による先行作品（いわゆる「原作」）があるもの。これらを取り上げる場合は、「原作」との対比、という面が強くなります。

例 ; 井上雄彦「バガボンド」

⇒ 先行作品は、吉川英治「宮本武蔵」

(2) 特に「原作」といえるものがなく、ほぼオリジナルストーリーであって、文化史的に画期的なもの

例 ; 荒木比呂彦「ジョジョの奇妙な冒険」

対象 : 主に高校生を対象とするが、一般の方々にも

テーマ 2 : 現代日本文学を読む

概要 : いまや世界有数のソフトパワーとされる現代日本文学ですが、なんとなく難解そうでなかなか手を伸ばせないという方も多いのではないのでしょうか。昔ながらの「作者の思想」などという考え方を離れて、別の角度から読んでみると、案外簡単に、かつ面白く読めたりするのです。たとえば、こういう小説を、ちょっとアクロバティックに読んでみませんか？

例 ; 川上弘美「どこから行っても遠い町」2008、

阿部和重「ピストルズ」2010、

円城塔「道化師の蝶」2012、

羽田圭介「スクラップ・アンド・ビルド」2015

対象 : 主に一般の方々を対象とするが、高校生にも

○講師名 : Edward Forsythe

テーマ 1 : Learning English using Technology

テクノロジーを使って英語の勉強

概要 : Technology gives everyone the chance to study English and to find friends to practice with. You can use your cell phone or computer to practice English and to make friends with other English-speakers around the world. I will show you how.

テーマ 2 : American Indian Cultures

アメリカンインディアンの文化

概要 : ① American Indian Tribes
-Traditional clothes
-Housing styles
-Locations
② American Indian Clothing Parts
③ American Indian languages and storytelling
④ Attendees then will practice using American Indian storytelling to create their own story

テーマ 3 : The History of Secret Codes

暗号の歴史

概要 : People and governments have been using codes to keep information secret for centuries. This presentation will demonstrate the beginning of codes and how they developed over the years until today. Participants will practice making secret messages and using both old and new code-making tools.

テーマ 4 : How Secret Codes Work

暗号の作り方

概要 : Secret codes have been used for centuries and there are several types and ways to make them. This presentation will show how codes are made and the participants will learn how to make secret codes and will practice making them.

対象 : 高校生や市民など

○講師名：鎌田 学

テーマ 1：哲学者たちはこう語った—高校生のための「生き方」入門

概要：西洋の哲学者たちは、それぞれ個性的な、インパクトのある言葉で人生の意味について語っています。現代に生きる私たちにとって、人生を考える指針となり得るような言葉です。この講座では、古代ギリシア時代から現代までの哲学者を幅広く取り上げ、彼らの言葉をひもときます。

テーマ 2：J-POPを<読む>

概要：今はやりのJ-POP数曲を取り上げ、その背景にある<物語>を読み取ります。それらに共通している「考え方」、「感じ方」はあるのでしょうか？あるとすれば、それは「J」=日本的でしょうか？

テーマ 3：リアル・クローズの<哲学>

概要：最近のリアルな衣服について多様な観点からアプローチします。とりわけ、変転激しい女性ファッションに注目し同時代を考えます。

対象：高校生

○講師名：川浪 亜弥子

テーマ 1：Shakespeare の名言から学ぼう！

概要：Shakespeare は400年以上も前の時代に活躍したイギリスの劇作家です。400年余りを経た今でも、偉人の名言という項目でネットを調べてみると Shakespeare の名が筆頭に出てきます。この講座では、Shakespeare が残した名言とされるものをいくつか取り上げ、どのような文脈で使われているのか、また現代の私たちにそれらの言葉はどのような形で生きてくるのかを考えます。そして最後にそれらの言葉を暗記しましょう。

対象：高校生

テーマ 2：文学と映画

概要：欧米の文学作品を映画化したものをいくつか挙げ、オリジナルの文学作品と映画作品の比較を通して、そこにあらたに盛り込まれた時代の諸相を考えます。

対象：高校生

テーマ 3：British Rock を考える

概要：この講座ではイギリスのロックミュージックの楽曲をいくつか取り上げて、イギリスの文化を覗いてみたいと思います。まず、歌詞の意味や英語の使い方を見て行きます。さらに、その曲が書かれた社会的状況や時代的背景も合わせて考えていきます。最後に一緒に歌えるようになると思いますね。

対象：高校生

○講師名：佐々木 正晴

テーマ：眼で見たものは本物か？ 逆さの世界と初めて見る世界

概要：1889年、アメリカの心理学者 Stratton は世界が逆さに見えるめがねを自作し、数日間自らそのめがねをかけて生活した。Stratton は一体何を知らうとし、そのような実験を行ったのであろう。他方、一定の生活歴を経て初めて眼を開いた人たちは一体何を見るのであろう。Chesselden は 1728 年に初めてその状況について報告している。

対象：どなたでも

○講師名：畠山 篤

テーマ 1：地域文化の発掘と発信

テーマ 2：古事記・万葉集の解釈と鑑賞

概要：①山伏神楽の「鐘巻」（宗教的なジェンダー）・「蕨折」（老人の恋）などの鑑賞。
②津軽地方の鬼（大人）伝承の特質。
③東アジアのなかの安寿姫（岩木山の神）伝承の特質。
④古事記の色好み伝承の特質。
⑤万葉集の「紫」の歌の発想。

対象：高校生あるいは一般の方

○講師名：楊 尚眞

テーマ 1：太宰治の「人間失格」と聖書

概要：「人間失格」は太宰治の作品の中で最も多くの人に読まれている作品である。「人間失格」の中にはキリスト教に自己の救いを求める太宰の姿が描かれている。太宰は精神病院での入院中は聖書だけを読んだ。彼は自分自身が人間失格であると思う反面、聖書の真理を通して新しい人生の道を探し求めたのである。彼はキリスト教信者になるまでには至らなかったが、切実に神に救いを求めた彼の姿を紹介する。

テーマ 2：芥川龍之介の文学作品とキリスト教

概要：芥川龍之介は15編ものキリスト教に関連する作品を著したが、キリスト教信者ではない芥川はエグゾチックな面と多角的な面でキリスト教を認識した。ある時にはキリスト信仰の中に自分自身を没入し、また、ある時には第三者の立場に立ちキリスト教信仰に対して共感と批判の目を同時にもったが、キリストを自分の信仰の対象にせず、「私のキリスト」としたが、キリスト教の思想は彼の考え方とは切り離すことはできない必要なものであった。彼の文学に表されたキリスト教に対する考えを紹介する。

テーマ 3：福沢諭吉とキリスト教

概要：「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」で有名な明治維新の偉人である福沢諭吉はキリスト教排撃者であると思われていたが、ある外国人宣教師との出会いと交友を通してキリスト教に対する考えが変わって行く。そして彼の思想にはキリスト教的な要素が含まれるようになる。福沢の外国人宣教師との交友のストーリーと彼の思想の中の「キリスト教的」な要素を紹介する。

対象：高校生あるいは一般の方

■ 社会福祉学部 ■

○講師名：石田 和男

テーマ：盛雲院講話、青空哲学教室

概要：その都度、内外の話題を取り上げて話をもちあげる。何が
出てくるかわからない。弘前のアゴラを目指す。

対象：人生をそこそこ経験し、教養もあり、知的好奇心旺盛なマ
ダム。

15人選考の上決定。資料代として1000円（各回）。

○講師名：西東 克介

テーマ 1：いじめに対応する学校最大の問題

テーマ 2：いじめに対応する教育行政最大の問題

テーマ 3：いじめを含む生徒指導の環境づくり

テーマ 4：いじめ問題と集団主義

テーマ 5：ソーシャル・ネットワーク（SNS）のうわさは本当か

テーマ 6：日米の教育委員会制度

概要：詳細は相談に応じます。

対象：中学生・高校生（部活動・生徒会などのグループ）・教員・
教育行政関係者・一般

※テーマ6に関連させて、教育長、教育者の専門性、リーダーシップ、
集団主義と個人主義等の講演が可能です。討論形式でも構いません。

○講師名：高橋 和幸

テーマ：人を助けること ～福祉の仕事のやりがい～

概要：現代社会では少子高齢化、核家族化、人間関係の希薄化な
どが進展しており、問題を抱えた家族が発生しがちです。
複雑化する社会の中で、福祉に対する国民の期待は高まる
ばかりです。講座では、福祉サービスを必要とする対象が
広がっていることを学ぶと共に、これらの領域でどのよう
な社会福祉専門職の活躍が見られるかについても紹介しま
す。受講を機会に、福祉に興味を持って頂ければ幸いです。

対象：高校生

○講師名：棟方 達也（T A J公認指導員）

テ ー マ：（実技）テレマークスキーレッスン

概 要：テレマークスキーをレベルに応じて指導します。

- ・用具は受講者持参（レンタル無し）
- ・会場：大鰐スキー場
- ・リフト代その他実費は、受講者負担
- ・1.5時間／1レッスン（日時応談）
- ・現地集合解散

対 象：性別、年齢、経験不問（原則として個人レッスン方式）

■看護学部■

○講師名：幸山 靖子

テ ー マ：自分の身体を観察してみようー循環器ー

概 要：自分の身体の観察についての講義・演習を通して、看護学への理解を深めましょう。

対 象：高校生

○講師名：菅原 大輔

テ ー マ：こころの病について

概 要：「こころの病」とは何か、そして、「こころの健康」とは何かについて解説します。また、現在の主な精神病について解説します。

対 象：高校生

○講師名：三上 聖治

テ ー マ 1：疫学から見た森鷗外と高木兼寛

概 要：明治時代の日清・日露戦争を舞台とした、陸軍と海軍の脚気相撲の話。

対 象：どなたでも

テーマ 2：食の安全と公衆衛生学

概要 要：化学物質や微生物からどのようにして健康を維持するかについて考察してみます。

対象 象：どなたでも

テーマ 3：コールドチェーンとゴキブリの話

概要 要：昭和 40 年代に始まった流通革命と健康問題の変容について解説します。

対象 象：どなたでも

テーマ 4：市区町村別平均寿命の解析

概要 要：平均寿命について、市区町村別の全国順位から得られることについて解説します。

対象 象：一般

○講師名：吉岡 利忠（学長）

テーマ 1：健康に関する話

概要 要：健康維持・増進は全ての人達の義務であり望みでもありません。どのようにしたらそれらを達成できるかについていくつかの方略を皆で考えてみましょう。

テーマ 2：宇宙医学に関する話

概要 要：いまや、月や火星に人類が居住することを考えています。重力の無い空気も無いところで人体の反応を考えてみましょう。

テーマ 3：スポーツ医学に関する話

概要 要：ヒトのからだは、使えば（トレーニングするあるいは訓練すると）あらゆる機能が向上しますが、使わなければ機能が低下におちいってしまいます。スポーツとからだの機能アップについて述べてみます。

テーマ 4：からだの不思議

概要 要：以前、NHK 放送番組で「人体の小宇宙」を製作したことがあり、そのビデオなどを用いて人体の種々な機能をわかりやすく紹介します。

対象 象：どなたでも

3. 申し込み方法

○申し込み方法

ご希望の講座がありましたら、講師を派遣いたしますので、
本学へEメール・FAX・ハガキなどでご連絡ください。
(恐れ入りますが代表番号が混み合いますので、できるだけ上記
の方法でご連絡頂ければ幸いです。)
折り返し、当方からご連絡申し上げます。

なお、お申し込みの際は、次頁の「申込書」をご利用頂くか、
「申込書」の内容をご参考の上、ご連絡ください。

○お申し込み・お問い合わせ先

弘前学院大学

〒036-8577

青森県弘前市稔町13-1

TEL 0172-34-5211 (代)

FAX 0172-32-8768

E-mail: koukai@hirogaku-u.ac.jp

○講師の派遣について

- * ご希望の講師・テーマ・日時・場所(会場)等をうかがった後、本学の「公開講座委員会」において、派遣を正式に決定いたします。
- * 本学の行事日程などによって、ご希望に添えないこともあります。ご了承くださいますようお願い申し上げます。
- * 講師料は無料です。講師の交通費も不要です。講座によって、一部実費がかかります(詳細は各講座の概要をご覧ください)。

2017年度 弘前学院大学公開講座申込書

弘前学院大学 公開講座受付担当 行

FAX 0172-32-8768

○講師名

○テーマ

○第1希望の日時

年	月	日 ()	:	~	:
---	---	-------	---	---	---

○第2希望の日時

年	月	日 ()	:	~	:
---	---	-------	---	---	---

○場所 (会場)

○受講者数

	約 人
--	--------

■申込者 (代表者)

○お名前 (ふりがな)

○学校・会社・団体名

○ご住所

〒	—
---	---

○お電話

○FAX 番号

--	--

○E-mail

※個人情報は、本学公開講座のご連絡以外には使用いたしません。